

TAMRON
Focus on the Future

株式会社タムロン

会社案内 2025



経営理念体系

光を究め、感動と安心を創造し、
心豊かな社会の実現に貢献します。

光とともに未来へ

喜びと感動にあふれ、安心して暮らせる「心豊かな社会」を目指して、
私たちは光学の技術を追究します。
その可能性を拡げ、未来の社会課題に立ち向かい、
新たな価値を世界中に提供していきます。

誠実

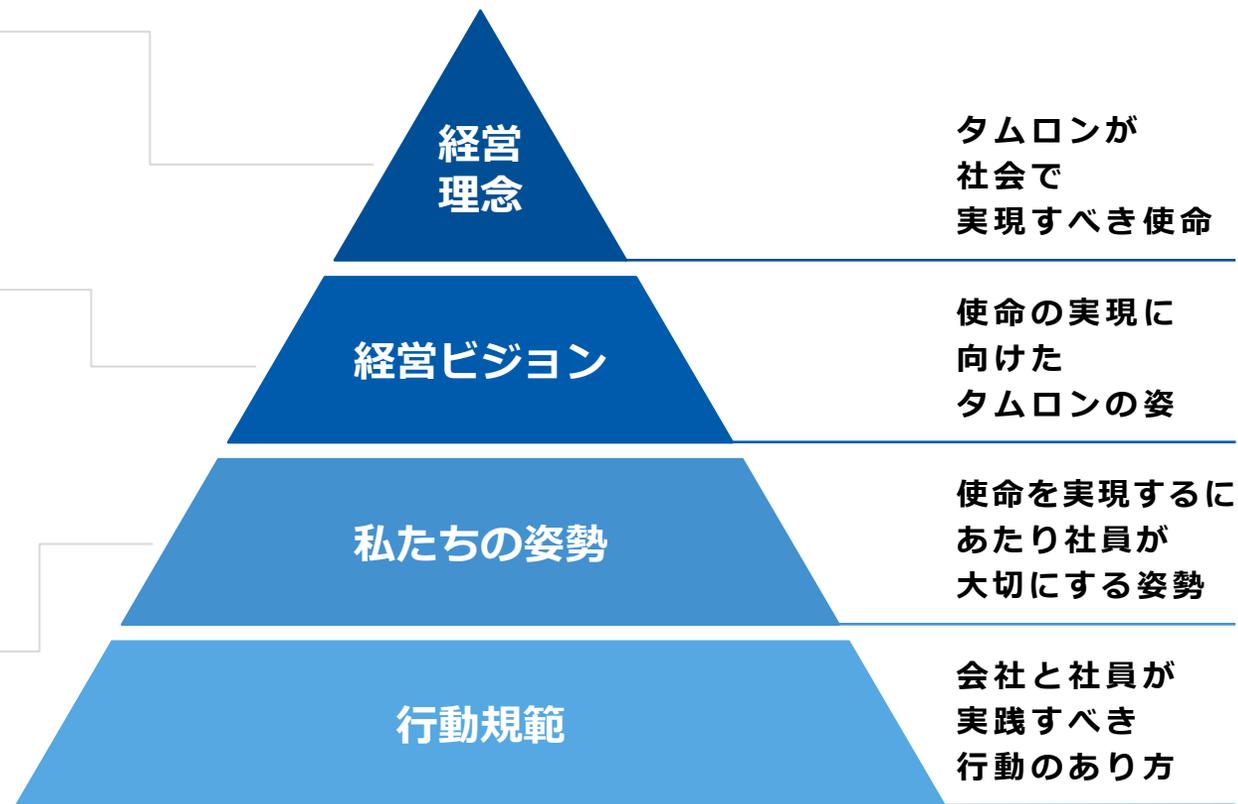
何事にも真摯に、現場・現物・現実に向き合い、公平・公正に取り組みます。

挑戦

常識に捉われず、広い視野を持ち、無限の可能性に挑みます。

創造

社会課題に対し、チームの力で立ち向かい、新たな価値を創造します。



Focus on the Future

先進の光学技術で「心豊かな社会」の実現に貢献する

タムロンは、研究開発から企画・設計・生産・販売・サポートまで一貫した事業体制をグローバルに展開できる世界で数少ない総合光学メーカーです。

1950年の創業以来、70年以上にわたり、最先端の光学技術へのたゆみなき挑戦と技術革新へのあくなき探求により、画期的で最新鋭の光学製品を提供し続けてまいりました。

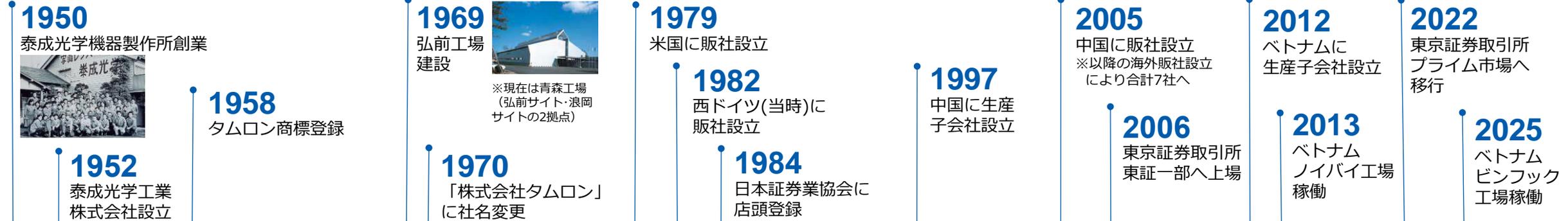
社会情勢が大きく変化する現代の社会において持続的成長を遂げるためにも、「既存事業の最大化」を遂行するとともに、当社が培ってきた光学技術をベースに「新規事業の育成」を実現することが不可欠であると考えています。これらを具現化するのは社員一人ひとりであり、「社員の幸福」も重要であると考えています。生き生きと働く社員たちによって社会課題解決に貢献できる製品が生み出され、その製品を通じて全てのステークホルダーの皆さまに幸福や感動、そして安心をもたらす「心豊かな社会」の実現に貢献することこそが、タムロンの社会的使命です。

当社のありたい姿「社会に尊敬され、真に必要とされる会社」の実現、そして大きな成果を次につなげるべく、進化させた中期経営計画「Value Creation26 ver2.0」の達成に向けて、引き続きお客様から信頼される高品質な製品の開発・提供をしてまいります。

代表取締役社長 桜庭 省吾

タムロンの歩み

社会とともに成長し感動と安心を創造し続けてきたタムロンの歩み



1950
写真機・双眼鏡
レンズの加工開始



1957
一眼レフカメラ用
マウント交換式
Tマウント開発
※世界初



1966
レンズ原器・
超精密レンズ・
プリズムの生産開始



レンズ原器

あらゆる光学レンズの基準となる超高精度なレンズ。タムロンは半世紀以上もの間、職人たちにより熟練技術が脈々と受け継がれ、今もなお製造できる数少ない光学メーカーです。

タムロン・
アダプトマチック
レンズ開発



1981
6倍ズーム
ビデオカメラ
レンズ開発



ビデオカメラ普及開始

小型のビデオカメラの普及に合わせて開発されたカメラ一体型VTR、ビデオカメラ用レンズが好調。売上構成比の5割を占めました。

1986
CCTV用
バリフォーカル
レンズ開発
※業界初



1992
一眼レフ用高倍率
ズームレンズ
AF28-200mm (71D) 発売



高倍率ズームの始まり

「タバコの箱の大きさに」とくりりと丸めた方眼紙が原型（当時世界最小・最軽量）。この製品を皮切りに、さらに焦点距離の拡大、小型・軽量化、新機構搭載を次々に実現し、現在の「高倍率ズームのタムロン」の地位を確立しました。



2006
携帯電話用
レンズ販売開始



2008
車載カメラ用
レンズ
販売開始



2016
小型カメラ
モジュール
販売開始



2017
ドローン用レンズ
販売開始



2018
医療用レンズ
販売開始



数値で見るタムロン

Web
QRコード
IR情報
<https://www.tamron.com/jp/ir/>

会社概要



創業

1950年11月1日



従業員数 (連結)※

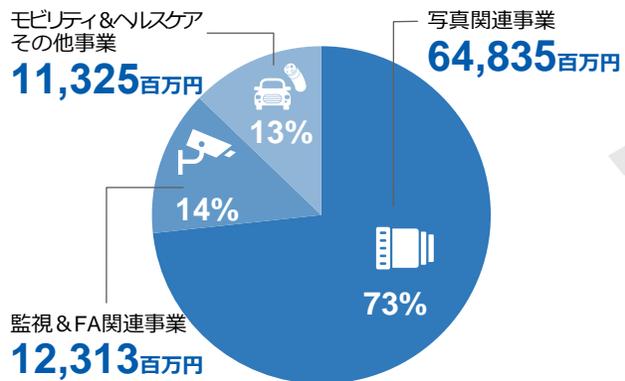
4,820名



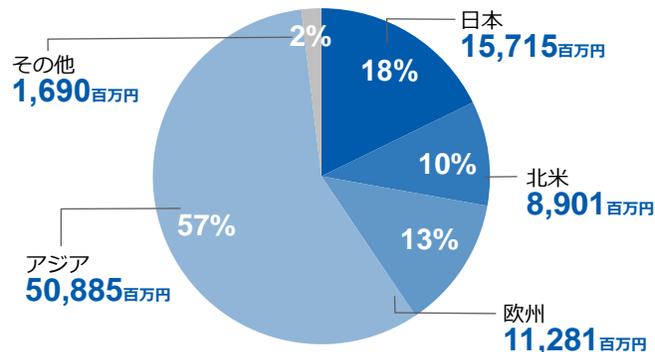
資本金※

69億23百万円

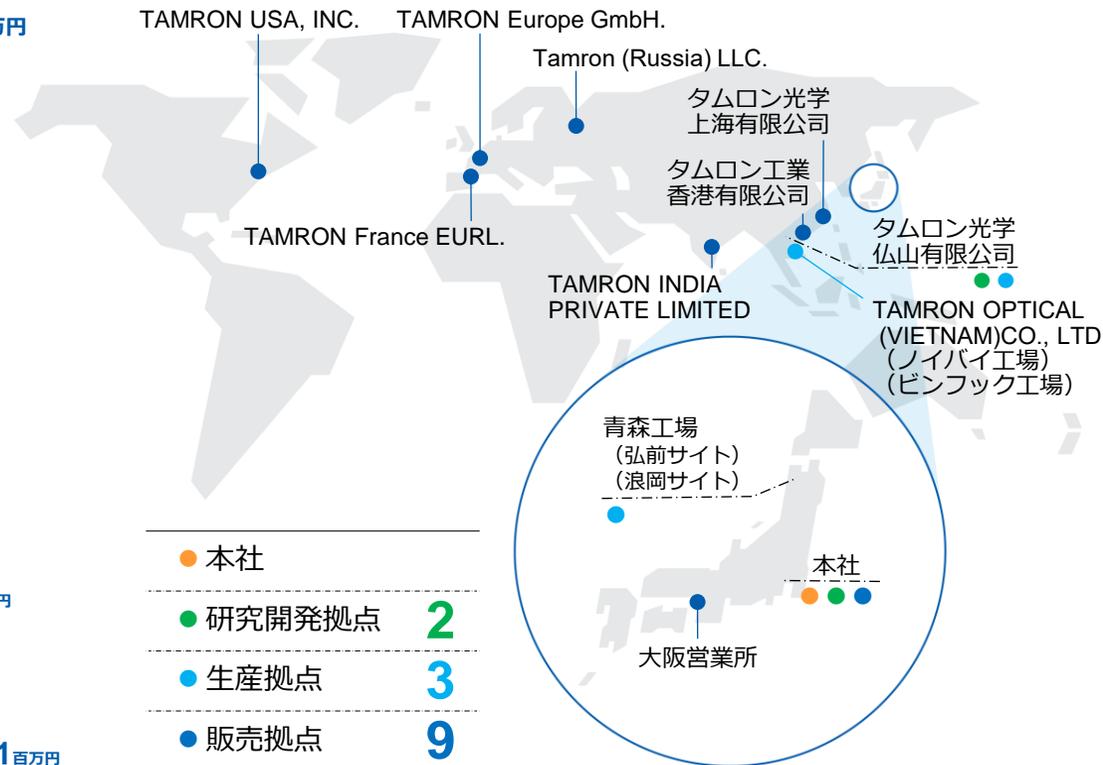
事業別売上高 (2024年度)



地域別売上高 (2024年度)



グループネットワーク



※2024年12月31日現在の情報です。

「心豊かな社会」を実現するバリューチェーン

研究・開発から販売までを一貫して自社で行い、高品質な製品を提供

光学技術で社会課題を解決

現在と未来の社会課題を新たな技術で解決。医療、農業、モビリティ、セキュリティなどの分野で、幅広いコラボレーション、共創を通じた研究開発を行っています。

幅広いニーズに対応する生産体制

お客様のあらゆるニーズに応えるため、世界3極体制を構築しています。第五次産業革命を念頭にスマートファクトリー化（自動化・省力化・省人化）と卓越した技術を持つ人材の育成に注力しています。

グローバルに広がる販売拠点

ユーザー目線に立った感動する商品を提供し、市場毎に応じた販売戦略で、シェア向上を始めとした事業拡大を目指しています。

研究

開発

製造

量産

販売

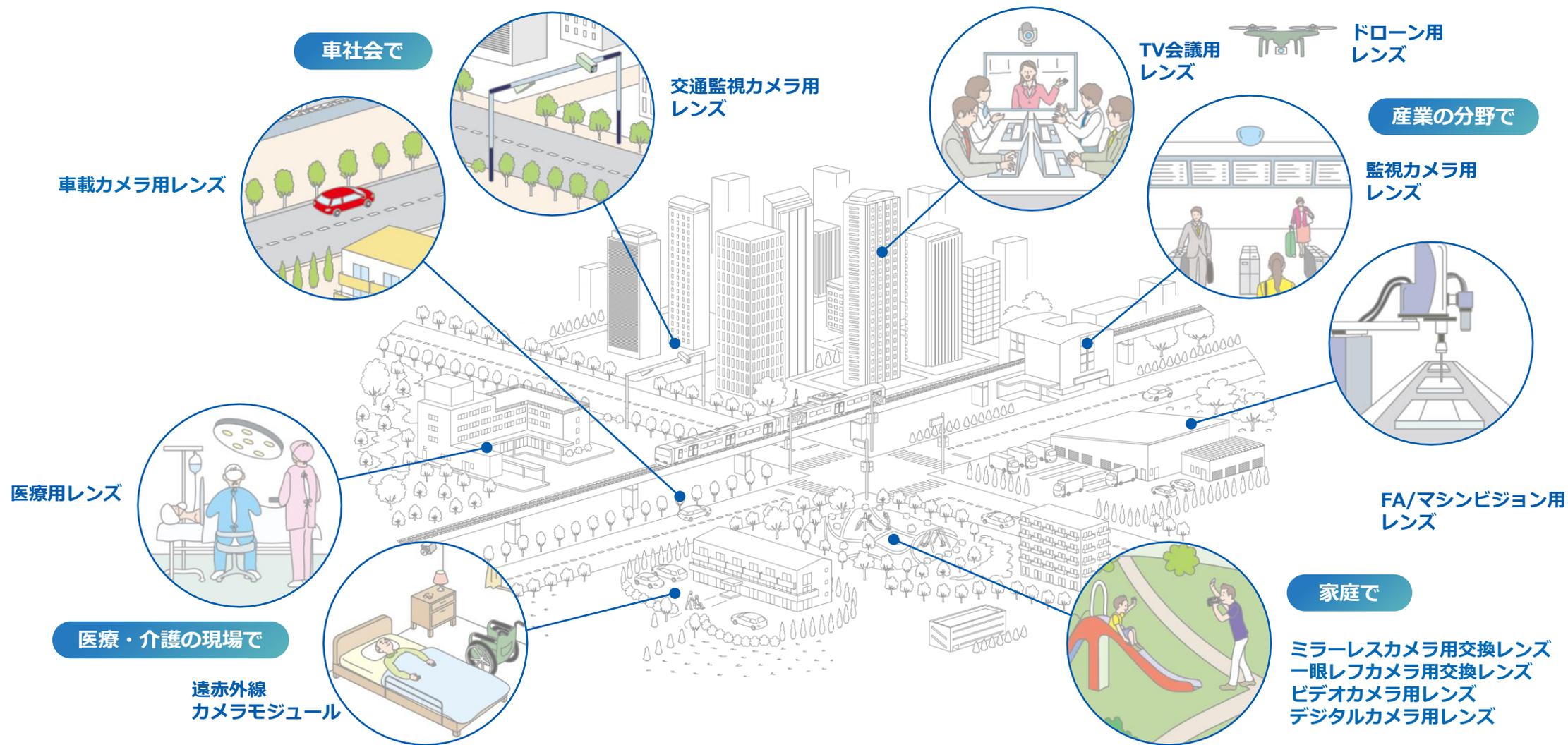
さまざまな事業分野における製品開発

光学開発センター及びR&D技術センターが研究開発、光学開発技術、レンズ加工技術、コーティング／フィルタ技術、アクチュエータ技術、樹脂成形／金型技術といった基幹となる各要素技術の開発を行い、製品開発については各事業本部の技術部門が行っております。

高品質な製品をスピーディに量産

機種ごとに独自の設備や調整装置を導入し、レンズ性能の向上と品質の安定を実現。卓越したマニュファクチャリングで、難易度の高い小ロット生産から大量生産まで柔軟かつ機敏に対応が可能です。また、厳しい品質管理体制により、一貫した“タムロン品質”の製品を実現し、世界中のお客様にお届けします。

感動と安心を創り出すタムロン製品



小型・軽量・高機能。日々の技術革新とともにタムロンは研鑽を続け、長年にわたり市場に価値ある光学製品を送りだしてきました。

心豊かな社会を築くため、今後も培ってきた光学技術・機構技術・生産技術を軸としたノウハウと技術開発の革新を追求し、光とともに未来を進化させます。





光学技術で社会課題を解決 研究開発

現在と未来の社会課題を新たな技術で解決。医療、農業、モビリティ、セキュリティなどの分野で、幅広いコラボレーション、共創を通じた研究開発を行っています。

レンズの「動き」を制御する アクチュエータ技術

さまざまなレンズの動き（ズーム・フォーカス・絞り・防振）を高速・高精度で制御するアクチュエータ技術として、光学設計と融合した駆動部・制御回路・ソフトウェアのトータルシステムを自社開発により制御します。

レンズの性能を最大限に発揮 コーティング／フィルタ技術

光学性能・レンズ機能をより効果的に発揮する光学コーティングの技術で、波長制御や低反射・表面保護など、用途や光源に応じて性能を発揮します。



経験と実績に裏付けられた品質 レンズ加工技術

研磨・研削・プレスなどの加工方法とさまざまなレンズ形状にも対応した加工技術を更に進化させて、新たな用途や複雑・異形状などにも高精度な加工技術を実現します。

光の波長と無限の可能性 光学開発技術

可視光から遠赤外、民生から産業用と幅広い光の用途に対応する光学開発技術として、設計・シミュレーション・製造・評価とレンズ製品の核となる技術を開発し続けることで社会課題の解決を目指します。

製造技術で新たな用途の創造 樹脂成形／金型技術

機械加工では実現できない複雑・異形状を高精度な金型と成形技術により、ガラス素材ではできない付加価値として生み出します。またプラスチックレンズだけでなく、製品の筐体にも樹脂成形部品が使われており、レンズ製品の新たな用途・価値創造にも貢献しています。

事業紹介

高品質な製品を、ありとあらゆる産業分野へ。

私たちは、光学のスペシャリストとして広く社会や環境に貢献する「総合光学メーカー」です。

独自の
先端技術



写真関連事業



監視&FA関連事業



モビリティ&
ヘルスケア、その他事業



写真を愛するすべての人に焦点をあて、 先進的で顧客感動を生むレンズづくりに挑戦

高度な技術力を強みに、レンズの設計から製造・販売までを一貫して行っています。
近年では、主流となったミラーレスカメラ用レンズのラインアップを拡充しています。

特長

- » 優れた光学性能、軽量・コンパクトでユニークな製品
- » レンズコーティングや手ブレ補正機構など最先端の技術開発
- » 新たな撮影体験を切り拓く近接撮影能力
- » EISAアワード19年連続受賞をはじめ、国内外各賞受賞
- » 世界7カ国に現地販売会社、世界各国に代理店を展開

主な製品



50-300mm F4.5-6.3
(Model A069)



28-300mm F4-7.1
(Model A074)



90mm F2.8
(Model F072)



11-20mm F2.8
(Model B060)
※当社初
キヤノンRFマウント





Web  写真用レンズ（自社ブランド）
<https://www.tamron.com/jp/consumer/>

Focus

静止画から動画撮影までサポートする 手ブレ補正機構「VC」

3つのセラミックボールを介して、3つの駆動コイルが補正レンズを電磁的に駆動する「3コイル方式」を採用し滑らかな動きを実現。
また、AI（人工知能）テクノロジーを活用し、動画撮影をサポート。



シャッターチャンスを逃さない 高速・高精度「AF機構」

独自開発のリニアモーターフォーカス機構VXD、ステッピングモーター機構RXDが静かで高速・高精度AFを実現。





セキュリティ、FA/マシンビジョン市場のリーディングカンパニーとして、常に市場ニーズに即した製品を提供

防犯、安心・安全のための監視カメラ用レンズをはじめとして、工業用マシンビジョンレンズなど、高画素対応、高品質のレンズをワールドワイドに展開しています。また、ドローンや組込用途など多目的な用途向けに10倍ズームカメラモジュールや、暗闇でも映像化できる遠赤外線（サーモ）カメラモジュールを開発・販売しております。

特長

- » 業界に先駆けて監視用バリフォーカルレンズを開発
- » 市場最先端の性能、技術を搭載したレンズを開発
- » お客様ニーズに合わせ、さまざまな視点から製品開発を実施
高画素、高性能に加え、利便性も追求
- » 技術対応力
- » モジュール化技術
- » 豊富な監視用・マシンビジョン用の製品ラインナップを用意
- » 世界中の大手カメラメーカーと取引

主な製品



監視カメラ用レンズ



FA/マシンビジョン用
レンズ



カメラモジュール



遠赤外線カメラモジュール



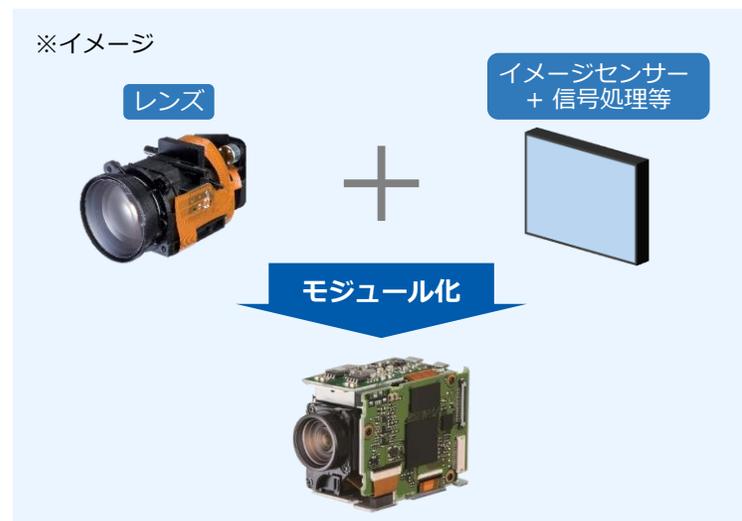


Focus

モジュール化技術

タムロンでは、レンズだけでなく、イメージセンサーとカメラ信号処理を組み合わせたカメラモジュールを実現できる技術を有しています。

組込用途などに最適です。



遠赤外線カメラモジュール

近年、工業・農業・畜産・防災・ヘルスケアなどさまざまな分野において適切な温度管理を求める需要が高まっています。こうした市場のニーズに応えるため、遠赤外線カメラモジュールを提供しています。

当製品はシャッターレスで温度を感知し映像化できる特徴を持っています。

インフラ監視や夜間監視など、人々の安全や安心に貢献しています。



短波赤外光領域（SWIR）用レンズ

食品の検査や選別のほか、各種産業分野において可視光領域から短波赤外光領域（SWIR）までの広帯域な撮影を可能にする産業用レンズを提供しています。

可視光では判別が難しかった「製品や食品などの欠陥検査、異物の誤混入検査、さらには検査物質の特定」などについて短波赤外光領域（SWIR）の利用が期待されます。





各事業で培ったタムロン独自の技術を活かして 人々の安心・安全、健康に貢献

高成長が見込まれる車載やドローン、医療分野での事業を拡大し、
人々の安心・安全や健康に貢献するとともに、次世代の収益の柱として本格的な成長を目指します。

特長

車載

- » 新素材・新技術を積極的に採用し、高度な要求設計に対応
- » さまざまな顧客からの要望に対応できる、柔軟な開発力
(コーティング、高耐熱性、高信頼性、高精度レンズ/鏡筒、金型加工技術)
- » TQC(Total Quality Control)の考えを取り入れた生産体制の充実
(CR環境、自動化)
- » BCP含む安定供給力

医療

- » 長年にわたり培った光学技術を駆使し極小径レンズや薄膜技術
- » 高度医療ソリューションへのニーズに応えるさまざまな分光技術

主な製品



ビデオカメラ用レンズ
デジタルカメラ用レンズ



車載カメラ用レンズ



医療用レンズ



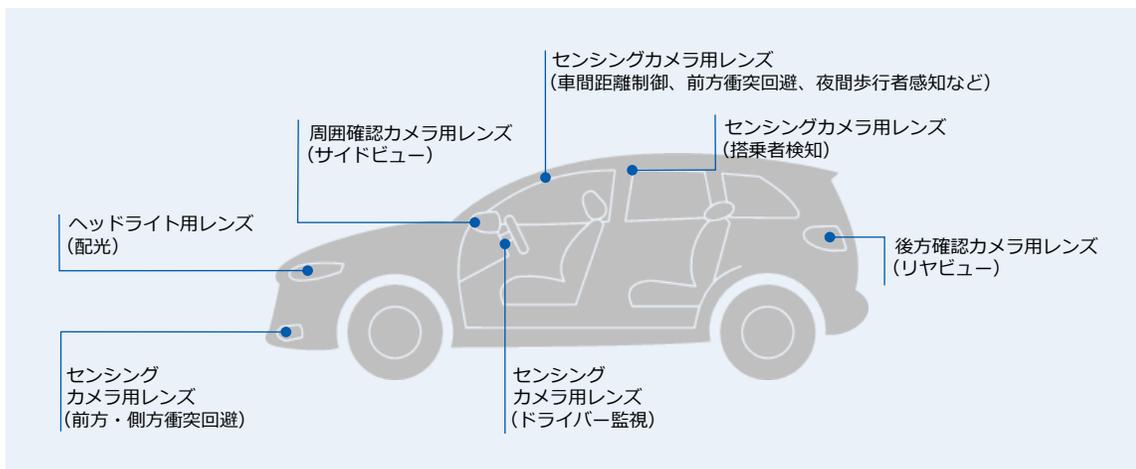
ドローン用レンズ



Focus

車載

当社では、自動運転社会の到来を見据え、多様な車載用レンズの開発に取り組んでいます。ADAS/自動運転領域において、高度な検知能力が各センサーに求められています。そのセンサーの「眼」を担うハイスペックなレンズの開発にチャレンジし続けています。安心して暮らせる心豊かな社会を目指し、高品質な製品を供給する事で社会へ貢献していきます。



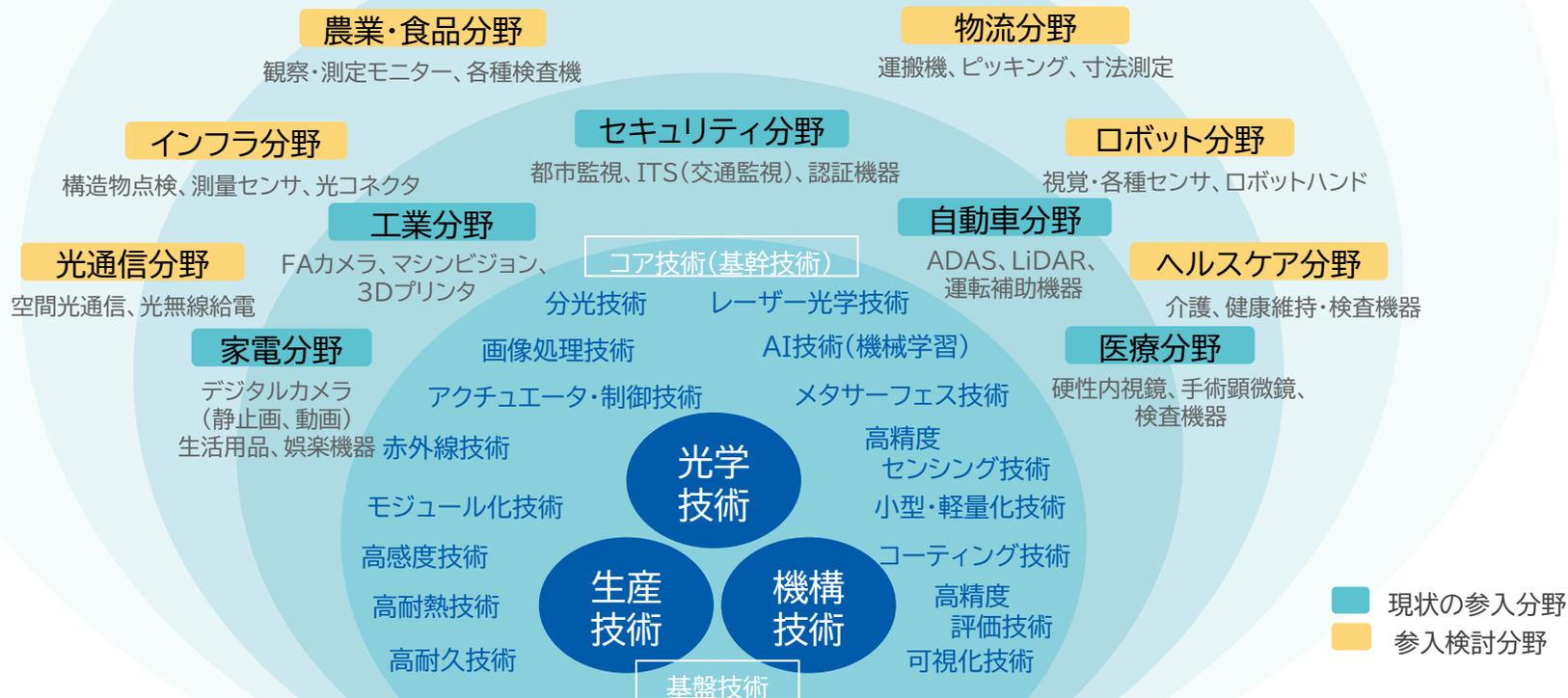
医療

当社では、高度医療ソリューションへのニーズに応えるさまざまな製品開発を行っています。光学技術の分野では、さらなる低侵襲化に伴い、高解像度化・小型化を実現する技術開発に取り組んでいるほか、分光・蛍光観察技術の分野では、人の眼では見えなかった患部や細胞をより鮮明に可視化する技術開発を進めています。これらのイノベーションによりオンリーワンの製品を創造し、先端医療技術の発展と患者様のQOL(Quality of Life)向上に貢献していきます。



技術力を活かした事業領域の拡大

テクノロジーを次世代のソリューションへ
タムロンの技術は、“撮る”から“測る”へと進化します



品質管理・生産体制

世界3極生産体制により小ロット生産から大量生産まで対応することが可能

青森県にある工場は「マザー工場」としての役割を担いつつ、すべてのレンズの量産体制も構築。海外工場では、マザー工場との連携や日本での技術者研修実施により、日本品質を継承しています。また、「創意工夫と技術力を結集し、安全と環境へ配慮しながら、お客様から信頼される高品質な商品を提供することで感動と安心を創造します。」という方針のもと、品質管理を徹底。研究開発から設計・製造まで一貫した品質管理により、“タムロン品質”を実現しています。

| | 拠点 | 製品構成 | 主な特徴・生産品目等 |
|--|---|---|--|
| | 青森工場 (弘前サイト)  | <ul style="list-style-type: none"> デジタル一眼カメラ用交換レンズ 監視カメラ用レンズユニット 医療用レンズユニット 自社一眼レンズ/CCTVレンズ 修理部門 車載カメラ用レンズユニット | <ul style="list-style-type: none"> 写真一眼レンズの自動機組立ライン 金属加工・アルマイト表面処理加工 自動運転ユニットLIDAR |
| | 青森工場 (浪岡サイト)  | <ul style="list-style-type: none"> 球面レンズ・非球面レンズ レンズ原器 高精度基準レンズ | <ul style="list-style-type: none"> 自動研磨ライン・自動検査装置 GMレンズ加工技術 医療用多層膜加工等の最先端技術 |
| | タムロン光学 仏山有限公司 (中国・ 仏山工場)  | <ul style="list-style-type: none"> デジタル一眼カメラ用交換レンズ DC/VCカメラ用レンズユニット 監視カメラ用レンズ 車載カメラ用レンズユニット ドローン用レンズユニット | <ul style="list-style-type: none"> 各工程の自動機/自動レンズ組立 レンズ球面加工・複合レンズ加工 金属加工 プラレンズ・モールド成形加工 |
| | TAMRON OPTICAL (VIETNAM) CO., LTD. (ベトナム・ ノイバイ工場)  | <ul style="list-style-type: none"> デジタル一眼カメラ用交換レンズ 監視カメラ用レンズ | <ul style="list-style-type: none"> レンズ球面加工 組立加工 |
| | TAMRON OPTICAL (VIETNAM) CO., LTD. (ベトナム・ ビンフック工場)  | <ul style="list-style-type: none"> デジタル一眼カメラ用交換レンズ 監視カメラ用レンズ 車載カメラ用レンズユニット | <ul style="list-style-type: none"> 金属加工 成形加工（塗装・印刷加工含む） 組立加工 |

Focus

青森工場の強み・特長

「マザー工場」としての役割を果たしつつ、すべてのレンズの量産体制も構築

タムロンでは、卓越した技能や技術を持つ人材育成や生産現場での創意工夫を押し進める一方で、スマートファクトリー化（自動化・省力化・省人化）にも取り組んでいます。

- » φ140mmの大口径レンズを面精度約λ/8で加工できる量産技術
- » φ1mm台の小径レンズで有りながら、面精度1本以下の加工技術
- » φ2mm程度で球面のロッドレンズ(外径と中心肉厚比約20倍)の加工技術
- » 凸面上に中心から周辺まで均一な反射防止膜(AXコーティング)の蒸着技術
- » 高い遮蔽性能(光学濃度;6以上)を実現した超多層膜フィルターの加工技術
- » 干渉計用透過型球面レンズ(参照面精度λ/20以上)の製作技術

中国・仏山工場の強み・特長

レンズの研磨加工からプラスチック成形や塗装、金属部品の加工、デジタル一眼カメラ用交換レンズ、監視カメラ用レンズ、車載カメラ用レンズの組立、完成品の梱包そして出荷までの一貫生産をおこなっている量産基幹工場です。近年は、独自に光学設計から製品開発も行っています。

自動化に向けた取り組み

レンズ加工自動研磨機

レンズを磨くときに精研削⇒研磨という工程を行います。従来は工程移動は人が取付・取り外ししていましたが、それを自動搬送して加工します。

レンズ組立自動機

一眼レフ用交換レンズの組立工程は部品組、グリスや接着塗布、ネジ締め、光学性能調整、検査があり、手作業で行っていましたが、現在はその作業全てを自動機が行っています。

ベトナム工場の強み・特長

球面レンズ/成形品/金属部品の内製化を行い、完成品組立工程も有し、ベトナムのFTA締結に伴う関税面でも地の利を活かせる量産工場です。生産体制の拡大を図るため、2025年1月には新たにビンフック工場が本格稼働しました。2026年に量産体制を確立し、2028年のフル稼働を予定しています。



海外販売は世界に7拠点。当社製品は世界約70の国・地域で販売

| 国 | 名称 | 所在地 |
|------|---------------------------------|---|
| 日本 | 映像事業本部 国内営業部 東京営業所 (本社) | 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地 Tel: 048-681-1511 Fax: 048-681-1512 |
| | 映像事業本部 国内営業所 大阪営業所 | 大阪府大阪市中央区南船場2丁目4番1号 美貴ビル6階 Tel: 06-6271-4281 Fax: 06-6271-4283 |
| | 映像事業本部 海外営業部 (本社) | 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地 Tel: 048-684-9339 Fax: 048-684-9349 |
| | コンポーネント機器事業本部 (本社) 営業一部/営業二部 | 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地 Tel: 048-684-9116 Fax: 048-684-9465 |
| | 特機事業本部 営業部 (本社) | 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地 Tel: 048-684-9129 Fax: 048-683-8594 |
| アメリカ | TAMRON USA, INC. | 10 Austin Boulevard, Commack, NY 11725, USA Tel: +1-631-858-8400 Fax: +1-631-543-3963 http://www.tamron-americas.com/ |
| ドイツ | TAMRON Europe GmbH. | Robert Bosch-Str. 9, 50769 Cologne, GERMANY Tel: +49-221-669544-0 Fax: +49-221-669544-404 https://www.tamron.eu/ |
| フランス | TAMRON France EURL. | 5 avenue Georges Bataille, F-60330 Le Plessis-Belleville, FRANCE Tel: +33-3-44-60-73-00 Fax: +33-3-44-60-23-34 https://www.tamron.eu/fr-FR |
| 香港 | タムロン工業香港有限公司 | Unit 908, 9/F, Elite Centre, 22 Hung To Road, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong Tel: +852-2721-7797 Fax: +852-2620-1631 https://www.tamron.com.hk/ |
| 中国 | タムロン光学上海有限公司 | Room 1707, Ruijin Building, No.205, Maoming South Road, Shanghai, 200020, CHINA Tel: +86-21-5102-8880 https://www.tamron.com.cn/ |
| ロシア | Tamron (Russia) LLC. | Unikon Business Center 2F No.4, Plekhanova Street 4a, Moscow, 111123, Russian Federation Tel: +7-495-970-0112 Fax: +7-495-970-0112 https://www.tamron.ru/ |
| インド | TAMRON INDIA PRIVATE LIMITED | 805, 806&807, 8th floor, Vatika City Point, MG Road, Gurgaon-122001, Haryana, India Tel: +91-124-41-168-12 https://www.tamron.in/ |



本社



アメリカ



ドイツ

ESG/サステナビリティ

E 環境 Environment

カーボンニュートラル・自社製品・
サービスを通じた環境負荷低減

環境ビジョン2050の推進・進化

- GHG排出量の削減
 - Scope1、2
 - **18%**削減（2015年比）
※30年：**30%**削減
※50年：**ゼロ**
 - Scope3
 - 測定手法、削減目標設定
- 資源循環社会への貢献度向上
 - サーキュラーエコノミーへの進化
- 自然共生社会への取り組み推進
 - 生物多様性の保全と持続可能な利用への施設強化
- CDP評価の改善

S 社会 Social

人的資本経営、DE&I、働きがいの推進

人的資本経営の推進

- DE&Iの推進
- 人的資本投資の拡充
 - 教育研修費：倍増
 - HRシステムの刷新、機能拡充
 - 技術者育成強化（研究開発費の増加）
- 人権DD体制の充実
 - SAQ実施によるリスク分析と改善
- 健康経営の推進
- エンゲージメント活動の拡充

G ガバナンス Governance

コーポレート・ガバナンス体制の変革

監督機能強化、意思決定迅速化

- 監査等委員会設置会社への移行
 - 監督機能強化、意思決定迅速化
- 社外取締役比率の向上
 - 過半数の確保
- 取締役会の実効性評価の改善
 - 実効性評価への第三者関与
 - 各委員会への監督強化
- 取締役会諮問委員会の改善
 - 透明性あるプロセス強化
- 執行機能の充実
 - 権限移譲の推進
- 内部統制体制の拡充
- 企業風土の改善

Focus on the Future

タムロンが見つめているのは、未来です。
創業以来、積み重ねてきた光学の技術で
光の新たな価値と使命を切り拓き、
未来の社会課題に立ち向かうことは
光学のスペシャリストである、私たちの責任です。
「心豊かな社会」の実現に貢献するため、
感動と安心を創造し、世界中へと届けていく。
私たちの挑戦はこれからも続きます。

